

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪産業創造館
施設所管課・担当	経済戦略局産業振興部企業支援課（担当：松井・櫻井）
条例上の設置目的	大阪産業創造館は、中小企業の創造的な事業活動を支援し、創業を促進するとともに、その経営基盤の強化を図ることにより、中小企業を総合的に支援し、もって大阪市の産業の発展と地域経済の活性化に寄与することを目的とする。
業務の概要	・施設管理運営業務 施設・設備の維持管理及び安全管理を行うとともに、適切な施設運営及び利用促進、利用者サービスの向上に努める。 ・中小企業支援事業に関する業務 中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項各号のいずれかに該当する者若しくは同条に掲げる事業を営もうとする創業希望者（以下、「中小企業等」という。）に対し、経営に関する課題解決や情報発信、知識習得機会の提供、販路開拓、創業等の支援事業を各事業の有機的な連携のもと、大阪産業創造館を活用して総合的に実施する。
成果指標	利用者満足度/貸室利用率
数値目標	95%以上/75%以上
指定管理者名	公益財団法人 大阪産業局
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	貸室利用率
数値目標	95%以上	75%以上
年度実績	97.3%	62.8%
達成率	102.4%	83.7%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	196,954	208,511	-11,557
稼働率	62.8%	60.9%	1.9%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料 事業交付金	実績	938,585,301	849,835,075	-1,035,300	支援事業における対象企業数の減による減
	計画	939,620,601	849,835,075		
利用料金（使用料）収入 受益者負担等事業収入	実績	69,602,422	60,972,050	7,202,422	大規模展示会出展料が計画時の見込みを上回ったことによる増
	計画	62,400,000	50,339,600		
自主事業収入	実績	5,842,850	6,493,400	-650,550	ブース設営代行サービスの利用が計画時の見込みを下回ったことによる減
	計画	6,493,400	6,955,200		
合計	実績	1,014,030,573	917,300,525	5,516,572	
	計画	1,008,514,001	907,129,875		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	285,368,414	325,067,570	-18,033,739	派遣職員の支出項目を物件費に変更したことによる減
	計画	303,402,153	291,600,000		
物件費	実績	702,394,222	631,794,053	24,483,774	上記による増および利用者の利便性向上を目的とした施設予約システムの構築による増
	計画	677,910,448	588,498,225		
修繕費	実績	44,184,464	20,404,046	23,476,464	支援体制拡充に伴う2階レイアウト変更による増
	計画	20,708,000	20,775,000		
自主事業支出	実績	6,670,978	7,276,768	-605,790	ブース設営代行サービスの利用が計画時の見込みを下回り、委託料や人件費が減少したことによる減
	計画	7,276,768	7,734,118		
合計	実績	1,038,618,078	984,542,437	29,320,709	
	計画	1,009,297,369	908,607,343		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度95%以上	102.4%	B	
施設稼働率	83.7%	C	利用者ニーズを踏まえ、稼働率が低調であったパソコン実習室を令和7年10月に研修室へ変更し、前年度より稼働率が向上したことは一定の評価ができる。引き続き稼働率向上に向けた取り組みや、利用者ニーズを踏まえた施設運営の検討を行う予定であり、更なる稼働率の向上が期待できる。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
事業に関しては、民間人材の能力やネットワークを効率的に活用して、効果的な事業展開が図られており、事業内容に応じて的確に受益者負担を求め、適切な事業を展開している。 施設管理業務については、故障や事故、大規模な改修等を未然に防止する観点から、こまめな補修や点検作業等を行っており、結果的には市費の縮減効果に繋がっている。	B	市費に頼った事業展開だけでなく、受益者負担も行い、大阪市の産業の発展と地域経済の活性化に寄与した。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	施設内の汚損箇所や不具合に対して速やかな対応・報告が実施できていた。
事業計画の実施状況	B	・目標値を上回る実績があげられている項目もあり、支援企業におけるマッチング件数は前年度以上の実績となった。 ・ミーティングを定期的の実施し、サービス向上に積極的に取り組んでいる。
施設の有効利用	B	-
社会的責任・市の施策との整合性	B	-

5 利用者ニーズ・満足度等

大阪産業創造館において実施されたセミナー等のプログラム参加者に対し、満足度アンケートを実施し品質向上やニーズの確認を行った。満足度については、「満足」「大変満足」の合計が97.5%であった。

6 外部専門家意見

・満足度アンケートは取り方が大事である。回答欄の選択項目は多い方が良い。また、自由記入欄のコメントは改善につながる大事な情報なので見ておく必要がある。 ・セミナーについて、内容と受講者のレベルが相違しないよう、募集時に必要なスキルを記載するなど工夫をしてほしい。 ・施設管理運営、中小企業支援事業ともによくやっている。 ・稼働率が年々改善されている点は評価できる。但しより稼働率を上げるため、低稼働率時間帯に絞った改善の取り組みや、新たに稼働予定の施設予約システムの、より利用者視点での使い勝手の工夫などに期待する。 ・パソコン実習室を研修室に見直したことは稼働率向上の点から評価する。 ・稼働率にも影響してくるので、新たに導入された貸室フロアの無料Wi-Fiは利用者に不利益が生じないよう、通信の安定性を常に確保いただきたい。 ・今後も常に利用者目線に立った運営を心掛けていただきたい。
--

令和7年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・施設利用の満足度については、本市が求める水準を超える満足度を達成している。 ・施設稼働率については、毎年度徐々に上昇しており、利用者ニーズを踏まえた対応によって、更なる向上が期待できる。
市費の縮減	B	・中小企業支援事業に関しては、内容に応じた確に受益者負担を求め、適切な事業を展開している。 ・施設管理運営については、突発的な故障や事故、大規模な改修等を未然に防止する観点から、定期点検に加え、こまめに点検や補修を行うことで、施設の長寿命化が図られ、結果的に市費の縮減につながっている。
管理運営の履行状況	B	・中小企業支援事業については、利用者のサービス向上に積極的に取り組んでおり、目標値を上回る実績を得ている。 ・施設管理運営については、事業計画どおりに行われており、不具合などにも適正な処置がなされていた。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	中小企業支援事業、施設管理運営ともに、本市が求める水準を上回った点は評価する。 なお、未達成の施設稼働率については、引き続き稼働率向上につながる改善に取り組んでいただきたい。